

### 「こどもの森」から「コクレオの森」へ

昨年末に法人名が「箕面こどもの森学園」から「コクレオの森」に変わりました。「コクレオ」という言葉に、「共生的で持続可能な社会を、みんなで創っていきましょう!」という、私たちの熱い想いを感じ取っていただければ嬉しいです。

「大阪に新しい学校を創る会」ができてから20年、「箕面こどもの森学園」になってから10年余りが経ちました。そして今回、従来の「こどもの森」に、「こそだての森」、「おとなの森」、「ミライの森」の3つが加わりました。これらを併せて「コクレオの森」としての総合的に事業を発展させていきたいと思っ

ています。

これまでNPO法人の理念や活動を紹介します。紹介したものがなかったので、これを機に新しく「コクレオの森リーフレット」を作りました。とても素敵なデザインなので、ぜひ手にとってご覧になってください。

そして、「こどもの森通信」の名前も変わります。今号がこどもの森通信の最終号となります。4月からは新しい名称、新しい形式でリニューアルする予定です。新しいメンバーにも加わっていただき、その企画編集をしていますので、新しい通信にご期待ください。(辻正矩)

こんな学校に出会いたかった!!

### ♪箕面こどもの森学園 生徒募集♪

2019年度・2020年度の生徒募集をしています!

自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか?

#### 募集人数 (2019年度)

小学部:2年生(1名)、4年生(1名)、5年生(1名)

中学部:1年生(2名) 2年生はご相談ください。

#### (2020年度)

中学部:新1年生(4名)

\*中3の受け入れは行っていません。

\*その他の学年は、欠員待ちへの登録となります。

見学日:月・金(事前申し込み必要)

**\* 見学、入学をご希望の方は、下段の「お問合せ先」までご連絡ください。**

### もりもりサポーター大募集!

多世代の人たちが、年齢や性別の枠を超えて、同じ夢を描くチームの一員として和気あいあいと活動できるのが、コクレオの森の醍醐味。

ぜひ、もりもりサポーター(会員)になって、ご関心のあるところに参加していただければとてもうれしいです!詳しくはHPをご覧ください。

### おとなの森

#### ■ もりラボ企画「予祝カフェ」

【日 時】2020年2月9日(日)14:00から16:00

【参加費】500円

【定 員】20名(最小実施人数5名)

【ファシリテーター】井上篤(全国に予祝を広める会)

#### お問い合わせ先

〒562-0032

大阪府箕面市小野原西 6-15-31

TEL&FAX: 072-735-7676

メール: info@cokreono-mori.com

URL: <https://cokreono-mori.com/>



#### 《 編集後記 》

明けましておめでとうございます。いつも暖かいご支援をいただき、ありがとうございます。

ご覧いただいている「こどもの森通信」は、今号で最後の発行となりますが、今後はスタイルを変えて生まれ変わります。これからも、共に未来を創り続けるコクレオの森をよろしく願います!(日置)



発行日:2020年1月15日

発行者:認定NPO法人 コクレオの森

〒562-0032

大阪府箕面市小野原西 6-15-31

tel&fax 072-735-7676

e-mail info@cokreono-mori.com

URL: <https://cokreono-mori.com/>



### 学習発表会「さべつのはね」

誰の心の中にもある差別の気持ち。今回のテーマでは、「差別は、他人事ではなく自分自身の中にその種があるのではないかと気づくこと。社会から差別される苦しみをなくすには、そこが最も大事なのではないか」という思いでスタートしました。

自分と少し違う人に出会ったとき、「変な人」「普通と違うやん」「えっ、気持ち悪…」など人の心の中に生まれる小さなざわつきに、「さべつのはね」というタイトルをつけました。子どもたちは、「見た目の違い」「暮らしの違い」「感じ方の違い」「個人で探究」のグループに分かれて学びを深めていきました。ゲストの方のお話を聞いたり、見学先でいろんな人に会う中で、自分との違いを感じ、知らなかったことを知り、心がざわつくこともあったようでした。一方で、その人のことや背景まで知っていくと、心のざわつきが減ったり、納得したり、違いも悪くない、と感じた子どももいたようでした。(福田)



### 韓国への研修旅行

11月に中学部は韓国への海外研修旅行に行き、ゼチョン・ガンジースクールと交流をしました。出発前は宿泊や観光先を調べるなど、役割を分担して10日間の旅に出かけました。ガンジースクールでは日本文化の紹介や1年間のキムチを漬ける行事、カヤグム(琴)演奏、干

し柿作り、高校生と今の日韓関係や歴史についての対話。スポーツや寮での共同生活、ホームステイなど多くの交流をしましたが、1週間の滞在が終わる頃には、お互いの別れを惜しむようになりました。また北朝鮮との国境地域や戦争記念館を訪れ、朝鮮半島の現実についても学びました。

現地では子どもたちが交通手段や食事場所を決め、旅の予算を管理しながら、旅をつくりました。道中のハプニングや予定変更もそのたびに話し合い、サポートし合いました。「実際に行ってみて、会ってみて分かったことがあった」と振り返る子どもたちから、旅を通して新しい発見や驚き、いろんな気持ちの変化があったことが伝わってきました。(高原)



### お泊り会

12月5日、6日に低学年の人たちで、今年2回目のお泊り会をしました。最初のスクールワークでは、1学期にお泊り会をしたこともあり、「2学期はもうやらなくていいか」という雰囲気もあったのですが、「やっぱりやりたい」ということで実施することになりました。お泊り会実行委員の人たちを中心に、10月から準備を始めました。

当日は、公園で自由に時間を過ごし、学校ではダンスパーティーやいろんな鬼ごっこなどをして遊びました。晩ごはんは料理を作る人たちと、買いに行く人たちに分か

れ、みんなでバイキングをしました。実行委員の人たちを中心に、自分たちでお泊り会を作っているという気持ちが強く感じられ、低学年の人たちがとても頼もしく感じられました。(矢吹)



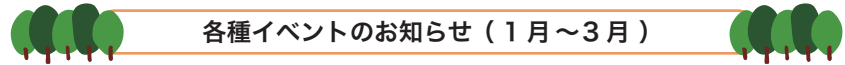
### 修学旅行

高学年クラスは、今年も修学旅行への準備を自分たちで進めてきました。

2学期は、フリーマーケットを開いたり、イベントに出店したりして、資金を集め、たくさんの募金もいただきました。そんな中で、スクールワークの時間以外に、休み時間や放課後も使って、何度も話し合いを重ねてきました。なんとか結論が出たのは、11月中旬をすぎた頃。1泊3日(日帰りコースを含む)の旅をすることになりました。姫路では、丸一日遊園地を満喫して、姫路城を観光し、

白浜では千畳敷で荒波にもまれたり、日本最古の温泉につかりました。

念願だった連泊は叶いませんでしたが、思い思いに楽しい時間を過ごすことができました。(藤丸)



### 各種イベントのお知らせ(1月~3月)

#### こそだての森

##### ■ 子育てカフェ「こどもの森のハッピーアドバイス」

こどもの森の子育てエッセンス!

第2回 2/12(水)「わたしのよさ、発見!」

第3回 3/11(水)「ともに育つ子育て」

【時間】10時から12時 【参加費】2,000円

【講師】坂本田鶴子、守安あゆみ(認定子育てハッピーアドバイザー) 【定員】20名

##### ■ 森のアトリエ in 里山

1月から森のアトリエ in 里山がスタートします!

四季の移り変わりとともにある仕事と暮らし。便利とは次元が違う豊かさを体感しませんか?

【日 程】2020年1月19日(日) 2月15日(土) 3月14日(土)

【時 間】10時から15時

【対 象】年長~小3の親子15組

【場 所】兵庫県川西市黒川 知明湖キャンプ場/黒川公民館

【参加費】大人2,000円、子ども2,000円/日\*追加料金1,000円/人(年長以上)

#### おとなの森

##### ■ 教育カフェマラソン

2ヶ月に1度、社会で活躍されている方々のお話を聞いて、対話の文化を深める活動をしています。

【日 時】1/24(金)18時半から21時

【参加費】500円

【話題提供者】谷崎テトラさん(構成作家・ワールドシフトネットワークジャパン代表)

【定 員】20名

##### ■ 「みんなで創るミライの学校」出版記念トークイベント

新刊記念トークイベント、各地で開催中です!

【日 時】1/25(土)14:00から17:00

【参加費】1,000円

【場 所】コミュニティスペース「コ・アーク」(東淀川)

【日 時】2/13(木)19:00から21:00

【参加費】2,000円

【場 所】OBPアカデミア(ツイン21 MIDタワー9階)



【小学部】

自由作文

つりにいったこと ひとき(小4)

きのうの日曜日につりにいきました。1時間ぐらいいっても、魚は1ぴきもつれませんでした。でもかえりに、えい(大きい)を見てびっくりしました。

ほかには、10月14日にもつりにいきました。そのときは30分まってイワシを1ぴきつって、かえりました。

ペット化 さき(小6)

私は虫がきらいです。でも、かめ虫があみ戸にとまっていたり家にいたりして、でも、お母さんはかめ虫を「なんかちょっとかわいい」と…いみがわからない!!

かめ虫はもうけっこういるので、やめてほしいです。

以上、かめ虫ペット化のひはんでした。

てんどんを食べたこと りんか(小6)

このあいだ、茨木イオンに行つててんどんを食べました。そこは、私のお気に入りの店で300~400円でてんどんが食べられます。

ちなみに私のすきなのは、おいもとかぼちゃとのりのてんぶらです。「おいしいな~」って思いながら食べていたらてんぶらのつゆをかけすぎて、ごはんの味がすごくこくなっていて「苦い~」ってなりました。おもしろかったです。

そのあと、ゲームセンターに行きました。クレーンゲームをしたらいっぱい(2回で)おちてきて家に持って帰ったらみんなおどろいていました。また、茨木イオンに行きたいです。

プロジェクト紹介

パズル

ななみ(小4)

作ったのは、もともと私はジグソーパズルが好きで、作るがわになってみたいと思ったからです。

作り方の説明をします。まず、土台になるパズルの板をちょうどいい大きさに切ります。つぎに、自分の好きな絵を描きます。私は自分の誕生月のお月見の絵にしました。それから電動イトノコでピースを切ります。最初は、デコボコのピースにしようと思ったけど、ダメだったので、クニャクニャにしました。かかった時間は5コマです。むずかしかったところは、細かいところに絵の具をぬるところです。がんばったところは、ノコギリで木の板を切るところです。反省点は、もう少しいろいろな色をぬればわかりやすかったかな、と思いました。工夫したところは、それぞれのピースをちがう形にしたところです。これを、いどこにあげたいです。



おうち

ゆい(小1)

おうちをつくったのは、たのしそうだからです。つくりかたのせつめいをします。

まず、おなじいたをさがします。つぎにいたであなをあけます。そこにくぎをうちます。つぎにやねをつくります。これで、おうちのほんたいはかんせいです。つぎに、はんせいてんをいいます。つくえをくっつけなかったらよかったです。

むずかしかったところは、ベッドのあしのぶぶんです。きにいているところは、おゆまるでごはんをつくったところです。

つぎにつくってみたのは、スライムです。



【中学部】

メディアの情報より自分の体験を! ~W.O. 韓国・朝鮮半島~

「日韓関係が悪化している」との報道が毎日のように流れる中、中学部は予定通りゼチョン・ガンジースクールと交流するため韓国を訪れました。今回は初めてこの海外研修旅行とW.O.(ワールドオリエンテーション)の学習を合わせて行いました。

各自が事前に韓国・朝鮮半島のことを調べ、疑問を出し合い、テーマを決めて出かけました。現地では高校生と直接対話したり、アンケートに答えてもらったり、社会科の先生にインタビューして自分自身のテーマと向き合いました。「朝鮮半島と他国の関係」というテーマでは、社会科の先生のお話から日韓関係を考えていくうちに、二つの国だけでなく、アメリカ・中国・北朝鮮と5カ国の関係が今の緊張状態を作っているのではと考えました。そこで5カ国の関係を図にして整理し、南北の統一

が日韓両国や諸外国にとってどのような影響があるのかを検討し、それぞれの国がどうしたらより平和的に今の状況をよくしていけるかを、いくつかの可能性を示しながら伝えました。

その中でも「北朝鮮が経済成長して、南北の政治形態を維持したまま統一して地方分権の国家にする」という案が一番良い案として紹介しました。その他に「朝鮮半島とベルリンの壁」「K-POPと日韓のつながり」「韓国と日本~アニメが繋げるもの~」などのテーマがありました。

振り返りでは「メディアの情報より、やはり自分で目にしたこと・聴いたことの方が信用できると実感した」との感想がありました。(佐野)



認定NPO法人箕面こどもの森学園の事業活動 9月~12月

第15回口ハス in こどもの森

晴天に恵まれた11月2日に「第15回口ハス in こどもの森」が開催され、スローフードなどのお店が軒を並べました。

今回のテーマは「SDGs」。各店では関連のクイズを出題し、スタンプラリーを行いました。また、ごみゼロを大目標に、そのきっかけ作りとして、マイ食器持参をチラシで呼びかけ、持参していただいた方には100円チケットをお渡ししました。その結果、用意していた100名分のチケットは約2時間で配布終了という嬉しい誤算となりました。

イベント後の出展者との交流会では、「SDGsを考えるきっかけになった」「来年もぜひ出展したい」との嬉しいお言葉をいただきました。私は実行委員として初参加し、このイベントは成長し続けていると感じました。過去の試みを引き継ぎ、毎年、次のステップへ。「SDGs」や「ごみゼロ」をキーワードに、今後も成長し続けることでしょう。

今回誕生した可愛いSDGsのロゴマークは、保護者の方に作っていただきました。

SDGsは2030年までの国際目標であり、コクレオの森の各種イベントでもこのロゴをシンボルに活動していけたらと考えています。(松浦)



「能勢かほる」

~ のせでんアートライン ~

能勢町で開かれた「のせでんアートライン2019“能勢かほる”」に参加して、

『キッズワーク in 里山』を“能勢けやき資料館”の西側の古民家“懐かしさの杜”で開催しました。

このイベントでは、里山の暮らし体験や、モノづくりの楽しさ、豊かさを感じてもらいたいという願いで、「しめ縄飾りづくり」「竹箸づくり」「棒パンづくり」の3つの仕事を担当しました。

仕事を体験すると、対価として“マルシェ通貨”も発行しました。

「しめ縄飾りづくり」は、もち米の藁を柔らかくしてねじり、クリスマスやお正月バージョンに飾りつけしました。「竹箸づくり」では、お湯につけて柔らかくなった竹を小刀やヤスリでゆっくり手に馴染む形に整えていきます。「棒パンづくり」では、パン生地を棒に巻き付け、たき火でじっくりと焼きました。そして、急きよ加わった「豚汁」では、芳仲さん夫妻が能勢の野菜をたっぷり使って腕をふるってくださいました。

地域の人たちに助けをもらいながらのイベントにはたくさんの出会いと学びがあり、楽しい時間を過ごしました。(西川)



大人も学んだ! Manabee プログラム

今年も6月から12月にかけて、一泊二日の宿泊を含むManabeeプログラムを実施しました。

箕面こどもの森学園が大切にしている「自己肯定感」「自己決定」「対話」「ESD」について学んだのち、グループごとに共育プログラムを作成し、こどもの森の各クラスで実施するというものです。

低学年グループは「ぼくはおこった~気持ちの移り変わりを体験しよう~」、高学年グループは「ゆめをポスターにして残そう~SDGsとのつながりについて考えてみよう~」、そして中学部グループは「自分版 人生ゲームを作ろう」という共育プログラムを実施しました。

一般の方にも参加いただいた報告会・交流会では、それぞれのグループの共育プログラムについて、とても活発なディスカッションが展開されました。(矢熊)



「みんなで創るミライの学校」を出版!

2013年に「こんな学校あったらいいな」を出版してから6年。ようやく2冊目の書籍「みんなで創るミライの学校」を出版できました。「コクレオの森」には、学校運営事業の「こどもの森」、子育て支援の「こそだての森」、大人も学べる「おとなの森」、持続可能な未来を創る「ミライの森」の4つの活動があります。

この本には、それぞれを、どんな思いで、どんな風にやっているのか、「コクレオの森」としての活動と、目指す未来が書かれています。執筆は4名で担当しましたが、ある人が書いた原稿を別の人が書き直し、その原稿をまた別の人が書き直すというリレー方式で書き上げました。

タイトルの通り、みんなで書いた1冊です。ぜひお読みいただき、コクレオの森にいるんなカタチで関わっていただければ嬉しいです。(藤田)

